

☆初参加者相談コーナー

月例会へ初めて参加された方のための相談コーナーです。
当会のカウンセラー、支援相談員、訪問ヘルパー、ひきこもり支援相談士が対応いたします。

☆個別相談、グループ相談

月例会の他に相談がしたい方、定期的につづきたいという方に個別に対応致します。

♪♪ カウンセラー個別相談

初回無料、次回より 60分 3,000円 事前に電話にてお申込下さい。

090-4247-2829 齋藤

♪♪ 栃木 家族相談会（個別相談会） 於：栃木市 吉田邸

NPO法人グローバルヒューマン代表理事 大河原康雄

完全予約制 一家族1時間 5,000円

お問合せ、ご予約 090-9316-0166 大河原

♪♪ 新潟県佐潟荘 副院長 精神科医、心療内科医

医学博士 中垣内 正和先生合同相談会（年2回2月8月）

2月13日（日） 埼玉けやきの会 5,300円

8月13日 日本テレビ スッキリ それを知りたい大人の引きこもり
で医療、家族会、居場所の必要性等につきコメントされた
ドクターです。予約したい方は 齋藤まで 090-4247-2829

☆23年1月30日 ベリー会8周年記念講演会

支援者の立場からと当事者の体験談 とちぎ福祉プラザ 2F 第2研修室
NPO法人文化学習協同ネットワーク代表理事佐藤さんと当事者青年
午後1時30分 参加費 会員1200円 非会員1500円 当事者無料

♪～尊氏マラソン完走！～♪ ♪走った青年が感想を寄せてくれました♪

マラソン大会に参加して

11月7日、おかげ様で足利尊氏マラソン10kmの部完走することができました。
タイムも45分台と自己ベスト更新でした。何年か前立ち上がって歩くのも辛かったことを思い出すと夢のようです。すごく自信にもなりましたし、これから色々な事に挑戦していきたいと思える最高の1日となりました。

何よりも嬉しいのは当日応援に来てくれた方、旗にメッセージを書いてくれた方、定例会などで声かけてくれた方、色々な方の応援が支えになり、力になって走ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。今まで以上に一人ではないことを実感しています。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

岩永彰一



すとるベリー 通信

<http://khj-tochigiberry.net/> NO. 26

NPO法人KHJとちぎベリー会(平成23年1月30日発行)

引きこもり「東京大会」が盛況裡に終了しました。

11月13日（土）・14日（日）第6回KHJ全国大会 in 東京「引きこもり長期高齢化へは総合福祉法（仮称）の適用を！」副題：「未受診・治療中断の“仲間”も救おう！」が全国からの参加者を向かって開催されました。

来賓挨拶の後、国立国際医療センター国府台病院精神科部門診療部長齋藤万比古先生の「新ガイドラインの目指す意義」の基調講演があり、次にシンポジウム「国の明確な方針を踏まえ、抜本的な対策とは？」がコーディネーターに中垣内正和先生、コメンテーターに齋藤万比古先生、パネリストに東京都精神医学総合研究所西田篤志先生、衆議院議員初鹿昭博先生、徳島大学境泉洋先生でおこなわれました。大会2日目は全体会議の後、5つの分科会が開かれ、終了後各分科会の報告、そして病気を押して参加された奥山代表の東京大会宣言（下記）が提唱され、会場から大きな拍手と賛同の声が上がり満場一致で宣言は採択され、東京大会は終了しました。

<東京大会宣言> 平成22年11月14日

1. 新ガイドラインを学び・理解し、さらに「引きこもり」問題に対する包括的、かつ、具体的な支援課題の強力な展開を要望する。
2. 新しい法律や諸制度に“「引きこもり」の遷延化に伴う生き難さ”への包括的支援が反映されることを強く要望し、見守ろう。
3. “家族や家族会とそのネットワーク”の存在意義を訴えると共に、協働の認識をもって公的な施策には積極的に参画しよう。
4. 「引きこもり」支援に対応する保健、医療、福祉の人材育成や社会的な資源の柔軟な運用、充実を求めろ。
5. 以上の課題を官民協働で推進するために必要な財政的支出を強く要望する。

☆ 東京大会へのご寄付について報告

前回の月例会において、東京大会の運営に寄付のご協力頂き有難うございました。集った金額5,300円を全額大会事務局へお渡し致しましたことをご報告いたします。

☆ 東京大会へ当会から10名の方が参加しました。

参加した方が寄せてくれた感想等を今回と次号に分けて掲載いたします。

KHJ第6回東京大会第5分科会「若者の部屋」に参加して

…テーマ「若者の生きにくさを訴える」…(11月14日 10:10~11:10)

当初別の分科会に参加予定であったが、若者の生の声が聞きたくなくて、急遽若者の分科会に参加変更した。多数の若者が参加し、時間が足りなくなるほどいろいろな意見が出て、非常に参考になった。

《若者の意見》

- ① ひきこもっている自分・他人をどう思うか。
 - ・社会のひずみの中の犠牲者となってしまっている。
 - ・対人恐怖症になってしまっている。……失敗することを考えただけでも不安になる。
 - ・競争社会の中で足踏みを余儀なくされているイメージ。
 - ・今の社会は停滞が許されない世界。従ってひきこもることも許されない厳しい世界。
 - ・人より遅れているというあせりだけで、動き出せない。
 - ・今の世の中は若者がみんな「椅子取りゲーム」をやっているようなもの。
 - ・社会の犠牲者となってしまっているひきこもり者を、社会が見て見ぬ振りをしているのは許せない。
 - ・ひきこもり者同士の団結・連携が必要。
 - ・親が亡くなった後どうするかということが正直一番心配。
 - ・将来のことはあまり考えなかった。その時何ができるかだけ。
 - ・生きて行くということをキチンとやって行けるようになりたい。

② 東京大会テーマ

「引きこもり長期高齢化へは総合福祉法(仮称)の適用を！」

副題:「未受診・治療中断の“仲間”も救おう！」

等について当事者はどう思うか。

- ・「障害者制度への加入」……言葉のイメージが悪い。
ひきこもり者全員が精神疾患や医療の対象者ではない。
 - ・「復帰」……マイナスイメージ。ひきこもり・ニートの期間を、学校で勉強した期間と同じような認識をしてほしい。
- ③ 自分達に何が必要か。家族会に何を求めるか。
 - ・情報の共有化が必要……当事者間の連携。家族会との連携
 - ・家を出て暮らせる場所が必要……安心して暮らせる場所・経済的負担が少なくて済む場所。
 - ・家族会が団結・連携しているように、当事者(立ち直り者も含めて)同士も同じように横のつながり・団結・連携が必要。
 - ・経験者・当事者、自分たちで組織を作っていく必要がある。
 - ・当事者は家族会に対して、手伝いをしたりして謝礼をもらったりしている。対立ではなく協調が必要。
 - ・「出て来られない人」「理解のない家族の中にいる人」とどう繋がって行くかが課題。

④両親に対して

- ・両親は自分がなぜこうなったのか理解できない。
- ・こんな事もできないのか……。⇒ケンカ・ケンカ
- ・できればもっと話を聞いてもらいたかった。
- ・良い医者とかを紹介してもらいたかった。
- ・本人がやりたいということに対するサポートをしてもらいたい。

④ 社会・行政に何を求めるか。

- ・国に対しては何を求めるか。……今までは立場は曖昧であった。障害者制度に加入することにより、金銭的な保証をしてもらうことは、立ち直る上でもやはり必要。
- ・とりあえず自分の食い扶持だけは、何とか金銭的な保証をお願いできれば次のステップが目指せる。
- ・ひきこもりの人達がどんどん高齢化しつつあり、金銭的なものをどう解決して行けばいいのかというのが、どこまでも付きまとう課題。……自分たちの意見や要望を国や行政に伝える手段がない。

⑤ 立ち直りのきっかけ

- ・家から一步も出られない状況が続いていた。施設に入ることができたことが一番のきっかけ。施設に入れたのはたまたま、父の病気と妹までおかしくなりかけたから。……それがなければ施設には入れなかったと思う。
- ・依存症からの脱出……なかなか難しい。
- ・自分が一番足りなかったものをミーティング等を通してだんだん理解できて来た。……アルバイト先で。あるいは施設に入ってから。
- ・通新制大学に入ったこと(ある程度元気になってから)…親の金銭的援助があった。学歴のないことに対する不安・恐怖は人に言えないほど。
- ・一人暮らしを始められたこと……やはり親の家賃の援助がありがたかった。

《感想》

- ①意見を引き出すだけでまとめはない議論であったが、いろいろな考え方の人がいることが分かった。
- ②ここに出て来ている人は、段階の違いはあっても、ある程度立ち直った人・立ち直りつつある人だからこそ、ここまでのいろいろな意見が出せたのだと思う。
- ③取り留めのない聞いたままの列記であるが、何か伝わるものがあるような気がする。
- ④他地区(全国)には、立ち直った人・今だから経験談を話せるという人はたくさんいる。

ベリー会の講演会も偉い先生だけでなく、こうした若者に来てもらって座談会を開くのも良いと思った。
(H. A.)

クリスマス会 ゆっくりおしゃべり~ 楽しもう♪~

12月22日 午後12時30分集合 買い出し後手作りし会食

宇都宮東生涯学習センター元今泉館 和室、調理室

参加費500円と交換プレゼント品(あるもの、購入の場合は500円以内)

当事者参加費 無料